

競技注意事項

2019 中学選抜混成

1 本大会は2019年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施する。

2 ナンバーカード（ビブス）について

- (1)ユニホームの胸、背に確実につける。
- (2)跳躍種目は胸または背につけるだけでよい。
- (3)トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の「腰ナンバーカード」を配付する。
ランニングパンツの右横やや後方に、そのままの大きさを明確に数字が読めるようにつける。
- (4)腰ナンバーカードはフィニッシュ後、直ちに係（フィニッシュ前方スタンド側）に返却する。

3 ウォーミングアップについて

- (1)本競技場のトラックは、ウォーミングアップのために、大会の準備に支障のない範囲で、出場競技者に限り、最初のトラック競技開始時刻15分前まで使用できる。
※レーン使用区分は原則として次のとおりとする。
1・2レーンは中・長距離、3～6レーンは短距離、7・8レーンはハードル
それ以降の時間は放送の指示（競技役員がコントロール）に従い、使用することが出来る。
- (2)北陸上競技場でも競技を行っているため、競技役員の指示に従い、競技の支障がないように行うこと。
- (3)投てき種目は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。

4 招集について

- (1)招集所は100mスタート付近スタンド下に設ける。
- (2)招集の受付は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めない。
- (3)招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

	種 目	招集開始	招集完了
トラック競技	すべての種目	40分前	20分前
フィールド競技	すべての種目	50分前	30分前
混成競技	最初の種目は上記のとおりとする。その後の種目は競技場所で20分前までに点呼する。		

- (4)他の種目に出場しているなど特別の事由がある場合、代理人による招集を認めるので競技者係主任（招集所）に事前に申し出る。
- (5)北陸上競技場で行う種目については、北陸上競技場正面入り口付近で行う。

5 レーン順・試技順について

トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順は、混成競技の最終種目を除いてプログラムの数字で示す。欠場者のレーンはあける。

6 競技について

- (1)トラック競技について
 - ①すべて写真判定装置を使用する。
 - ②短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン（曲走路）を走行して止まる。
 - ③800m・1500m3000mは北陸上競技場で行う。
- (2)フィールド競技について
 - ①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
 - ②フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用できる。

④本陸の芝生養生のため、円盤投げは北陸上競技場で行う。

- (3) 競技者は、勝手に競技場所を離れること、ビデオ装置・カセットレコーダー・ラジオ・CD・MD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことは禁止する。
(競技規則第144条)

7 走高跳のバーの上げ方 (ただし、天候等の状況により変更することがある。)

混成競技			練習A	練習B	1	2	3	4	5	6	
中学 四種	男子	走高跳	1m35	1m55	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	以後3cm
	女子	走高跳	1m15	1m35	1m20	1m25	1m30	1m35	1m38	1m41	以後3cm

		練習A	練習B	1	2	3	4	5	6	
男子	走高跳	1m45	1m65	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	以後3cm
女子	走高跳	1m15	1m35	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	以後3cm

※練習は一人2回まで行うことができる。高さについては同じ高さでも、A・B1回ずつでもよい。

8 競技用器具について

競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。

9 競技用靴について

スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳は12mm以内とする。スパイクピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。

10 表彰について

中学四種競技は、8位まで表彰する。

11 陸上競技場の使用について

- (1) 応援はスタンドで行い、競技場内に立ち入って行わない。
- (2) 清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任をもって行い、環境美化に努める。

ゴミ問題は深刻な状況です。各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。現在、競技会終了後の「清掃・ゴミ処理」は、一部の学校の部員の奉仕活動により行われていますが、その労力は多大なものとなっております。他人に迷惑をかけないよう互いに気を配り、自宅への持ち帰りにご協力ください。

12 その他

- (1) 氏名・所属等の間違い、訂正があれば本部に申し出ること。
- (2) 貴重品類は、各自で保管する。万一の事故があっても、責任は負わない。盗難に注意すること。
- (3) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、**医務室において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。**

愛知陸協強化委員会医事部会が、競技者のコンディショニングと応急処置に当たっています。怪我の治療だけでなく相談業務も受け付けていますので、積極的に医務室をご利用ください。なお、テーピング用のテープは利用者で負担(持参)してください。

- (4) 全国大会の標準記録を突破した学校の顧問は、本部で説明を受けること。

【全国標準記録】 男子四種 2500点 女子四種 2630点

(5) カメラ・ビデオ等の撮影は、出場の団体・学校と選手の家族を除き必ず本部で許可を受けること。

◆選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆
撮影者の撮影制限について

- ① 観客席での撮影禁止をさせていただくエリアは下記の席です。
 - ・各種目のスタート後方
 - ・走高跳、棒高跳、走幅跳の助走後方・着地前方
 - ・走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）
- ② 保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。
- ③ 競技者がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っていたりする間や体を動かしているなど準備の行動の撮影は禁止します。
- ④ 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡をとらせていただきます。

雨天走路使用上の注意

- ① 危険防止のため、雨天時のみ使用を認める。ウォーミング・アップは北陸上競技場で行うこと。
- ② レーンの使い方
 - a 図のように、外側2レーンを歩行とジョグに使用する。
 - b 内側1レーンを走行レーンとする。ただし、『北→南』の一方通行とする。
- ③ 選手・監督以外の方は立ち入らない。
- ④ スタンド、スタンド下の控え場所に移動する場合には、両サイドから歩行レーンを使用する。
- ⑤ 練習をする場合には、周囲に注意し、スピードをひかえて、怪我をしないようにする。

